



NPO 法人社会生活サポートチーム 風を詠む理事長
玉井 英男 さん

●プロフィール

須坂市出身。池田町在住。
日本福祉大学卒業後、旧豊科町の介護老人保健施設に就職し、豊科に移住。2008年に「NPO 法人社会生活サポートチーム風を詠む」を設立し、居宅介護とデイサービスを開設。NPO 法人として地域の成相区の活動にも積極的に参加している。

●プロフィール

須坂市出身。安曇野市豊科在住。
1962年、旧豊科町の民間企業への就職を
機に今日まで居住。現在は成相区長およ
び安曇野市区長会の会長として「地域の
課題は地域で解決する」を合言葉に市と
協働で持続可能なまちづくりを進めてい
る。

安曇野市区長会長・成相区長
重野 義博さん



我々のような地域資源を
上手く活かしてほしい

市は平成29年12月、区や各種団体だけでは解決できない地域課題を解決するため、さまざまな分野の有識者等が集まる「まちづくり推進会議」を設置しました。NP〇法人として地域密着型デイサービスを運営する玉井さんは、「一人ひとりは一生懸命やっているが、それを横につなぐ場がないと

後 半は「広い視野
から見た地域課題
の解決」をテーマに、地域で
活躍する4人によるパネルデ
カッションが行われました。

活躍する4人によるパネルディスカッションが行われました。

地域を考える研究集会

ライフスタイルや価値観が変化し、地域課題は複雑化しています。区では、より広い視野での課題解決の必要に迫られる中、支え合い、助け合う社会を考える「地域を考える研究集会」が開かれました。

問地域づくり課まちづくり推進係
TEL 71・2494 FAX 72・3176

安曇野の魅力とは

身近な地域の魅力を再発見して
まちづくりにつなげる活動をして
いる宮崎さんは、「改めて安曇野
の魅力とは何か？」という質問に、
同じくらい好きだという北海道を
引き合いに出し、「北海道は原生
の自然だが、安曇野は原生の北ア
ルプスの手前に屋敷林や田園や拾

自治会と他組織とが連携する仕組みが必要

重野会長は「少子高齢化が進み今後、地域が果たす役割はより大きくなる。一方で、区の役員は持ち回りで代わっていくので継続性の点では限界がある。自治会と他組織が連携して地域課題を解決する仕組みが必要ではないか」と話しました。

♪安曇野には原生の自然に
人の営みがあるのが魅力♪

安

安 曇野の地域づくりを考える
「地域を考える研究集会」
が1月19日に市役所で開かれ、区
の役員など約200人が参加し、
発表に耳を傾けました。この研究
集会は、平成25年度に市内83区
の役員が一堂に集まり地域課題を共
有しようとし始まり、今回で6回目
となります。

移住して感じた安曇野

課題。今回は『さまざまな視点から見た安曇野』をテーマに議論し、区について多角的に考える機会としたい」と話しました。

さまざまな視点から見た安曇野

折々の景観に触れたり、畑で採れた野菜をおすそわけされた経験を話し、「安曇野には素晴らしい自然とおもてなしの心がある」と語りました。また、自身も安曇野歩こう会や安曇野太鼓保存会などのサークル活動に積極的に参加し、「知らない土地で知り合いができることはこんなにも安心感ができるものかと実感した」と話しました。

一方、自身が担当する市区長会事務局の立場で転入者から寄せら

で自分の住む区がいくらになるか心配」といった不安の声や、市民から「高齢夫婦の二人暮らしなので役員ができない」、「区に加入しようとしても加入金が高くハードルが高い」などといった相談があることを紹介しました。

土屋さんは最後に、「区の皆さんの負担を軽減しつつ、これからも安全安心で、自然も人も豊かな安曇野であるために、皆さんの力を借りながら尽力したい」と抱負を語りました。



NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団事務局長
宮崎 崇徳 さん

●プロフィール

さいたま市出身。安曇野市穂高在住。
横浜国立大学で建築と都市計画を学び、
東京の不動産会社に就職。1995年に信州
へ1ターン。2006年に「NPO 法人安曇
野ふるさとづくり応援団」を有志により
立ち上げ、1ターン支援や地域ガイドの育
成、景観まちづくりなどに関わる。

●プロフィール

上伊那郡辰野町出身。安曇野市豊科在住。
東京の企業に就職し、2018年6月より
地域おこし協力隊として安曇野市地域づ
くり課に勤務。安曇野市市長会の事務局
を担当し、転入者へ区の説明や各区への
取材・コラム執筆などを通じて区と市民
をつなぐ役目を担っている。

安曇野市地域おこし協力隊
土屋 陽子 さん

